

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ボリビア多民族国
2. 案件名	シャーガス病母子感染対策向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>顧みられない熱帯病の一つであるシャーガス病は、病原体 (<i>Trypanosoma cruzi</i>) がサシガメ (昆虫) に媒介されヒトに感染して起こる寄生虫疾患であり、主要な感染経路はサシガメによる媒介感染 (80%)・胎盤を介した母子感染 (5%)・輸血 (15%) である。殺虫剤散布によるベクター感染対策が効果を上げている中で、現在では経胎盤性の母子感染が深刻に懸念されている。ボリビアにおける年間の出産数や母親のシャーガス病抗体陽性率、母子感染の割合等を考慮すると、感染の可能性のある乳児は年間約 300~600 人にもなると考えられる。症状が出現する時点ではほぼ慢性期となっており、現状ではこのような慢性期成人に対する治療が困難であるため、薬物治療が有効な乳児期での診断治療が喫緊の課題となっている。</p> <p>ボリビア保健省は 2006 年に国家政策として包括的なシャーガス病制圧プログラムを開始したが、現場では検査や治療が十分に実施されておらず、陽性の乳児の治療率は約 70-80%に留まっている。</p> <p>この要因には妊産婦と医療従事者のシャーガス病の治療や診断に関する知識の不足や欠如、検査の記録不備と活用不全、保健センターと病院間の情報共有不全があると考えられることから、この課題解決のため妊産婦の陽性率が高いラグアルディア市を対象地域として本事業を実施する。</p>
4. プロジェクト目標	ラグアルディア市のシャーガス病母子感染対策が向上する。
5. 対象地域	サンタクルス県ラグアルディア市
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	<p>直接受益者：ラグアルディア市内の 13 ヶ所の保健センターに勤務する医療従事者 (医師・看護職員・検査職員・保健衛生職員・管理事務職員等含む)</p> <p>間接受益者：ラグアルディア市在住の妊産婦及び乳児</p>
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>成果 1：妊産婦のシャーガス病に関する知識が向上し、検査や受診に対する妊産婦の行動が改善する。</p> <p>成果 2：医療従事者のシャーガス病に関する知識が向上し、それに伴って妊産婦・乳児に対する医療行為及び啓発活動の質が改善される。</p> <p>成果 3：シャーガス病に関する情報管理の電子化のシステムを確立する。</p> <p>成果 4：保健センターと病院間の妊産婦及び乳児のシャーガス病に関する情報共有が十分に行われる。</p> <p>活動：</p> <ol style="list-style-type: none"> 妊産婦及び地域住民に向けて、シャーガス病に関する啓発活動を実施する。 医療従事者に向けた教育セミナーを実施し、啓発教材の開発、妊産婦及び地域住民と一緒にワークショップを開催する。 現在の情報管理システムについてキャパシティアセスメントを実施し、シャーガス病に関する情報管理システムを開発する。 主な医療機関への情報管理システムを導入し、保健センター間及び他病院との情報共有が円滑に行われるようにする。
8. 実施期間	2024 年 2 月~2027 年 1 月
9. 事業費概算額	98,199 千円
10. 現地カウンターパート	サンタクルス県保健局シャーガスプログラム (協力機関) アンドレス・イバニェス保健ネットワーク、ラグアルディア市、ガブリエル・レネ・モレノ自治大学

II. 実施団体の概要

1. 団体名	国立大学法人長崎大学
2. 活動内容	保健医療分野における国際協力は歴史が長く、様々な技術協力・長期及び短期研修員を受け入れ、感染症対策・母子保健・保健システム等多岐に渡る。本事業実施の中心となる熱帯医学・グローバルヘルス研究科は開発途上国を焦点にグローバルヘルス領域の実務プロフェッショナルを養成している。